その「物語」、の物語。

"ペログリ"的複眼思考の味わい vol.063

a taste of Ya'ssy

田中康夫

たなかやすお●'56年生まれ。衆議院議員、新党日本代表、作家。'00年より長野県知事を2期務める。'07年に参議院議員に当選、'09年8月の衆議院選挙で兵庫8区から立候補し当選。【公式ブログ】www.nippon-dream.com/

「福岡」の活力の源泉は何でしょう？　博多っ子の気質。無論、それに尽きます。が、併せて福岡空港の地勢も理由として挙げるべき。地下鉄でJR博多駅へ6分。西鉄天神駅へ11分。日本で最も中心市街地から近い空港です。

利用する度、イタリアのリナーテ空港を想起します。ミラノから50㎞離れたマルペンサ空港と異なり、ドゥオモが位置する中心地へ車で15分。マルペンサ開港後に廃港予定だったにも拘らず、現在も存続し、日帰り圏内のフランクフルト、パリ、ブリュッセル等を結ぶビジネス便が盛況な所以です。他方、マルペンサは成田空港的地勢が足を引っ張っています。

余談ながら、兵庫県伊丹市、大阪府豊中市・池田市に跨がる大阪国際空港＝伊丹「存続」願望など幻想に過ぎぬ、と高言する向きが居ます。呵々。伊丹廃港で関西国際空港＝関空が「活性」すると信じて疑わぬ方が余程、幻想です。謂わば、机上の空論な社会主義計画経済の破綻と同一。

伊丹廃港論者の根拠は、住宅密集地に存在する〝危険空港〟だから。呵々。ならば何故、年間旅客数が世界12位のスキポール空港も、年間発着回数が羽田、成田に次いで国内3位の福岡空港も存続しているのかな？　因みに前者もアムステルダム中央駅まで15分。

人口過疎地に存在の〝大飯原発〟だから「暫定的」に安全と巧言する向きに、供給側の理屈や都合でなく、消費側の需要や希望に根ざしたコンシューマー・オリエンテッドこそ肝要、と諫言せねばなりますまい。とまれ、沖合の玄界灘で計画されていた巨額の税金投入を要する海上空港建設の白紙化は、実に賢明な福岡の選択でした。

四谷荒木町の路地に出現した隠れ家的佇まいの真っ当な逸軒

今週の逸品

博多ひとくち鉄鍋餃子　1102円(税込)

11年目の二〇家は「にわけ」と読ませる。お目当ての鉄鍋餃子の前に摂るべき酒肴も料理も数多く、餃子を堪能する上でも注文品目には留意が必要。筑前煮を意味する九州野菜と博多地鶏のがめ煮（787円）、博多地鶏と糸島卵のにらきもとじ（790円）。地鶏刺と熊本小国の馬刺も各種。無添加生の柚胡椒も独自の味わい。猪、予約の上で犬の同伴も可能。店内はカウンター、テーブル、掘り炬燵。価額は何れも税込表示。

【二〇家】東京都新宿区荒木町3 山崎ビル1F　☎03-5312-7206　営18:00～25:30(LO24:00)
日曜・祝日・月曜定休　http://tai-j.com/niwake_topf.htm

illustration by Hajime Anzai

「二〇家」は、一鍋21個の博多ひとくち鉄鍋餃子（税込1102円）で知られます。荒木町の路地に出現するや、耳目を集めました。「高感度」な「業界人」を自任する御仁が集うとされる荒木町の、故に価額は一人前で料理は半人前な「逸する逸軒」に辟易していた真っ当なる向きが称揚したのです。

青梅街道沿いの阿佐ヶ谷で嘗てから供される鉄鍋餃子よりも洗練という完成度が高く、その他の料理も魅惑的だった点も含め。口さがない向きは一時期、焼き加減に揺らぎが生じたと噂しましたが近時、再び安定しています。

餃子好きの僕と妻は3鍋＝63個を先ずは注文。焼鳥屋さんのキャベツ（630円）、青大豆の青ばと豆腐（630円）、炙り酢モツ（580円）辺りを摂って、出来上がる迄の20分少々を凌ぎます。福岡市の西方に位置し、優れた生産農家を擁すると評判の糸島市から直送の野菜を用いた料理の中から、塩トマトとルッコラのサラダ（800円）、ニンニクの芽と砂肝のアンチョビ炒め（850円）を推奨します。

隠れ家的佇まいの二〇家は、焼酎に加えてワインも過不足なき揃え。クリームチーズのみそ漬け（630円）を始めとする酒肴も充実しています。